



五  
七

多り啼河此まは國よ久々のとら  
下浦一のふ於おふいは名又より  
之川より乃をさしたるなりおうて  
おの流るるあからまなしく二葉花  
中の穉こもよ二葉花おたきと  
おのふはくさくと使して百

石木大宮  
御馬とあそ

まりのりまにならぬ一とまは

火

本間文庫

本間文庫

7  
8  
9  
10  
11



石木大宮

御馬を

まじりしものなるに

秋名使を衣手は高木主水

正剛解長なまじりし柳六胡臣ハ

貞観名御門の皇孫經基王

のまじりし呉沖はまじりし

物部乃あけぶ家の風を

いふに

これ色よわのまじりし大内

武のまじりし今を

和して胡言を思ひ

むしりし

にそ有まじりし若浦

まじりし

空う横筒使乎

まじりし

か志めて一巻を

せまじりし

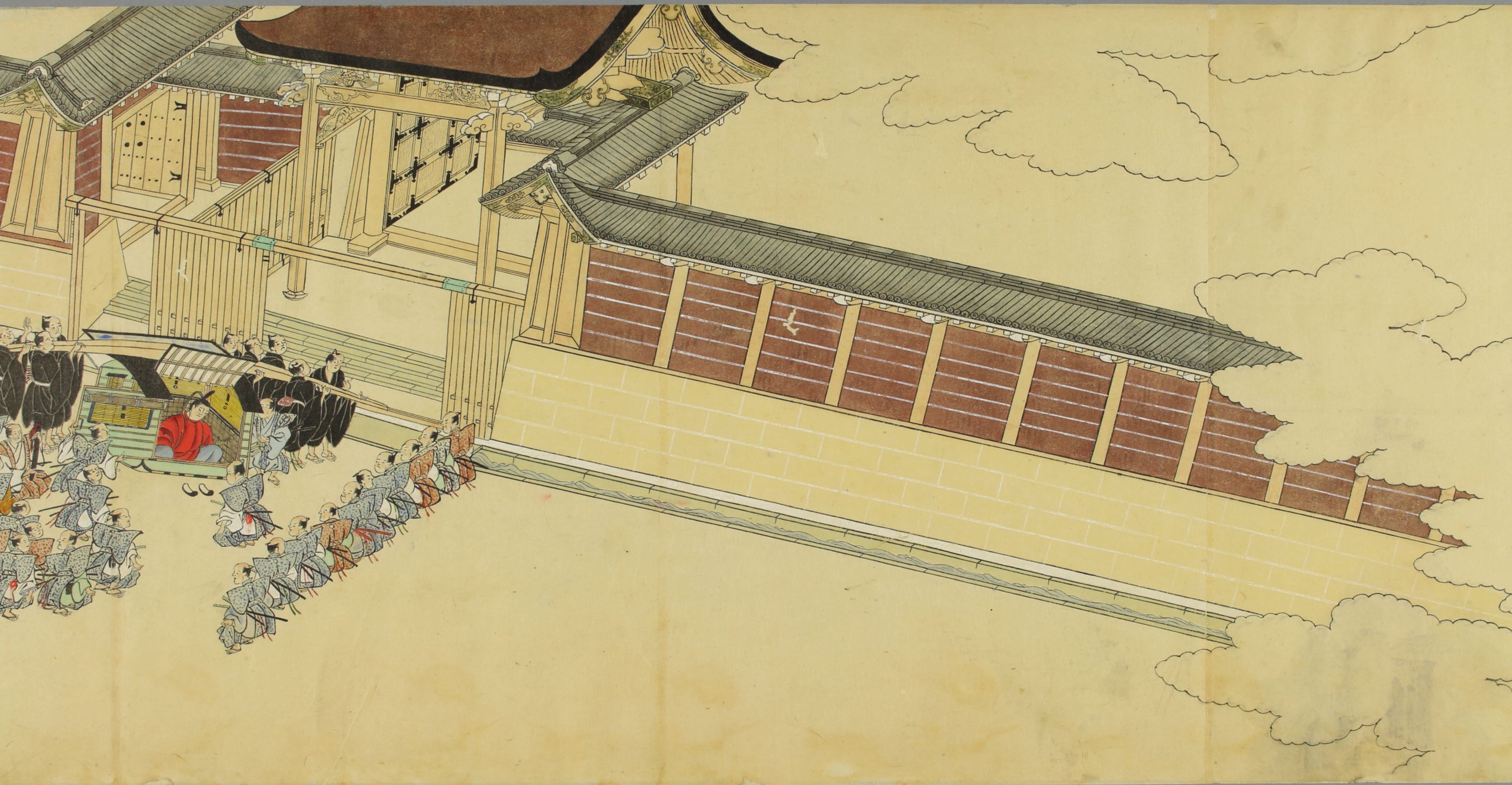
まじりし真木

まじりし

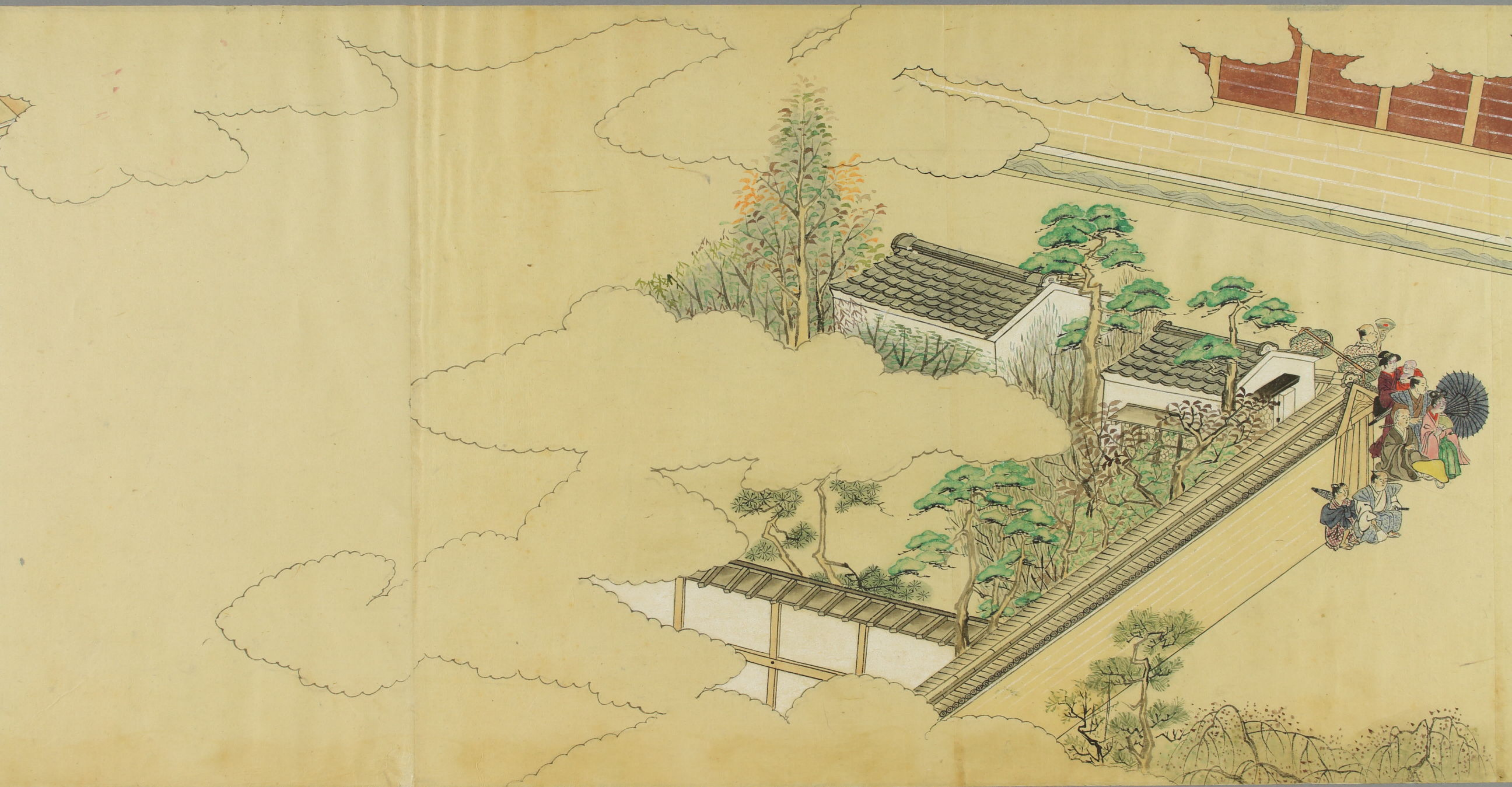
まじりし

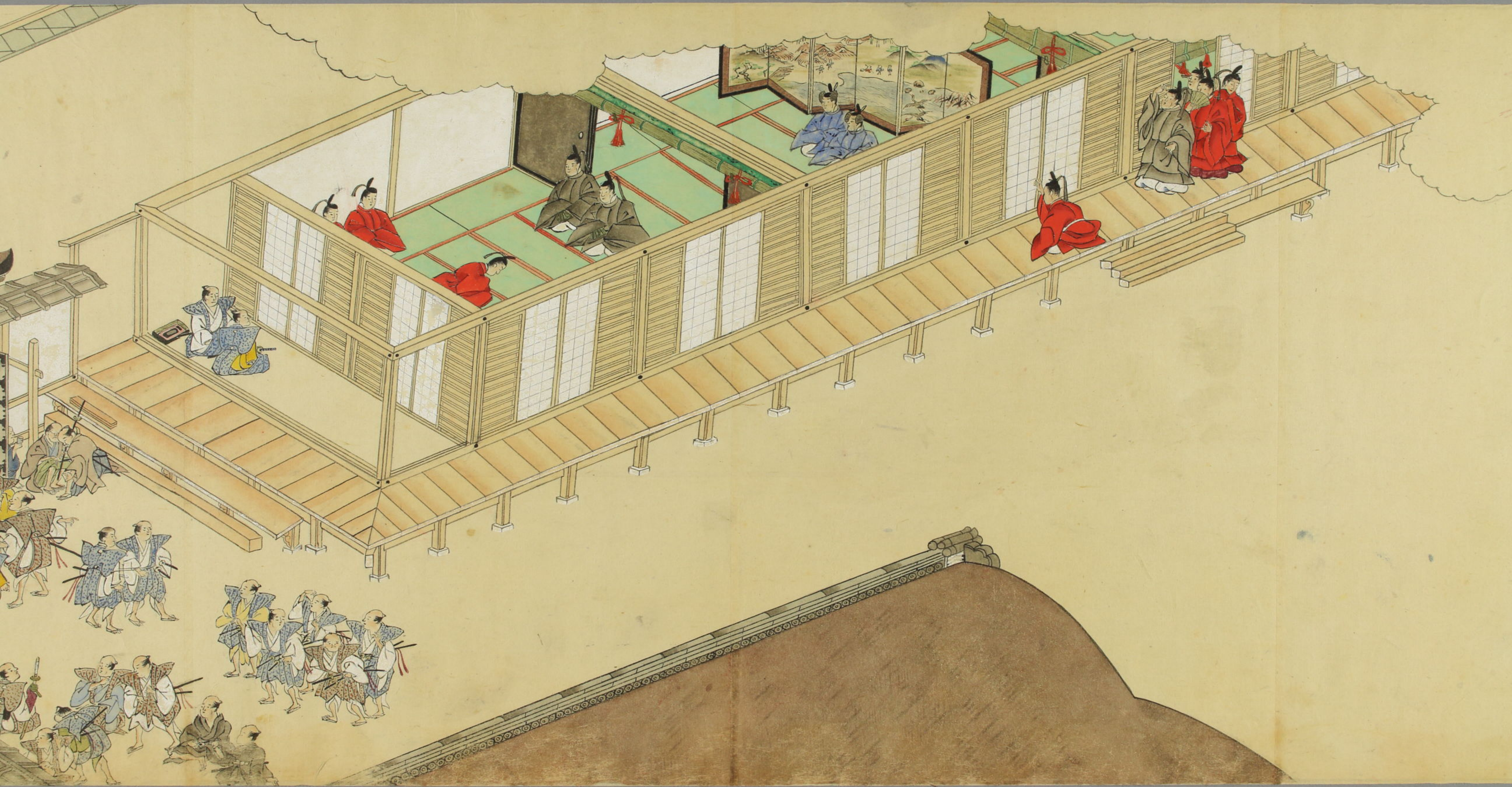
まじりし











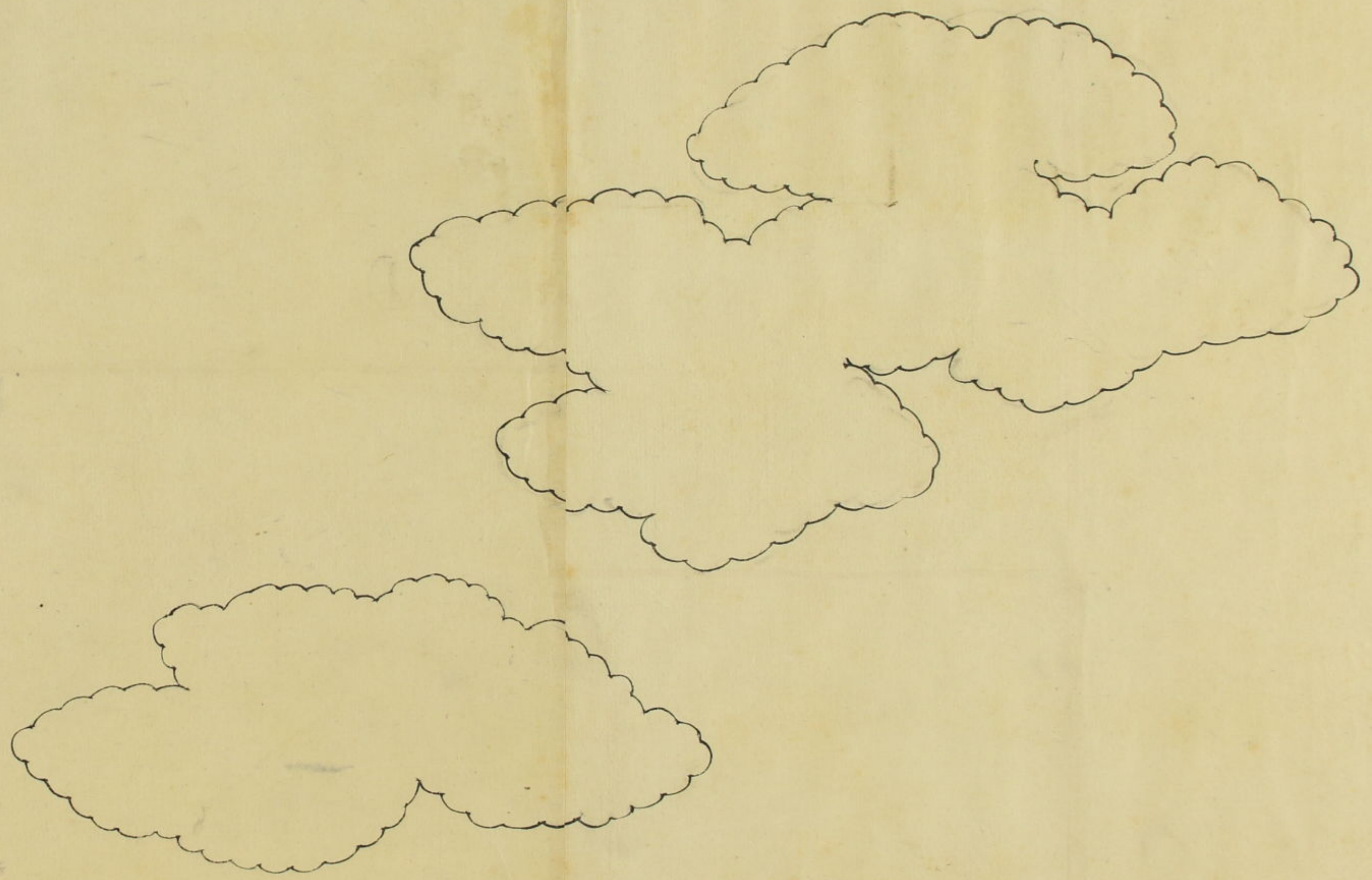


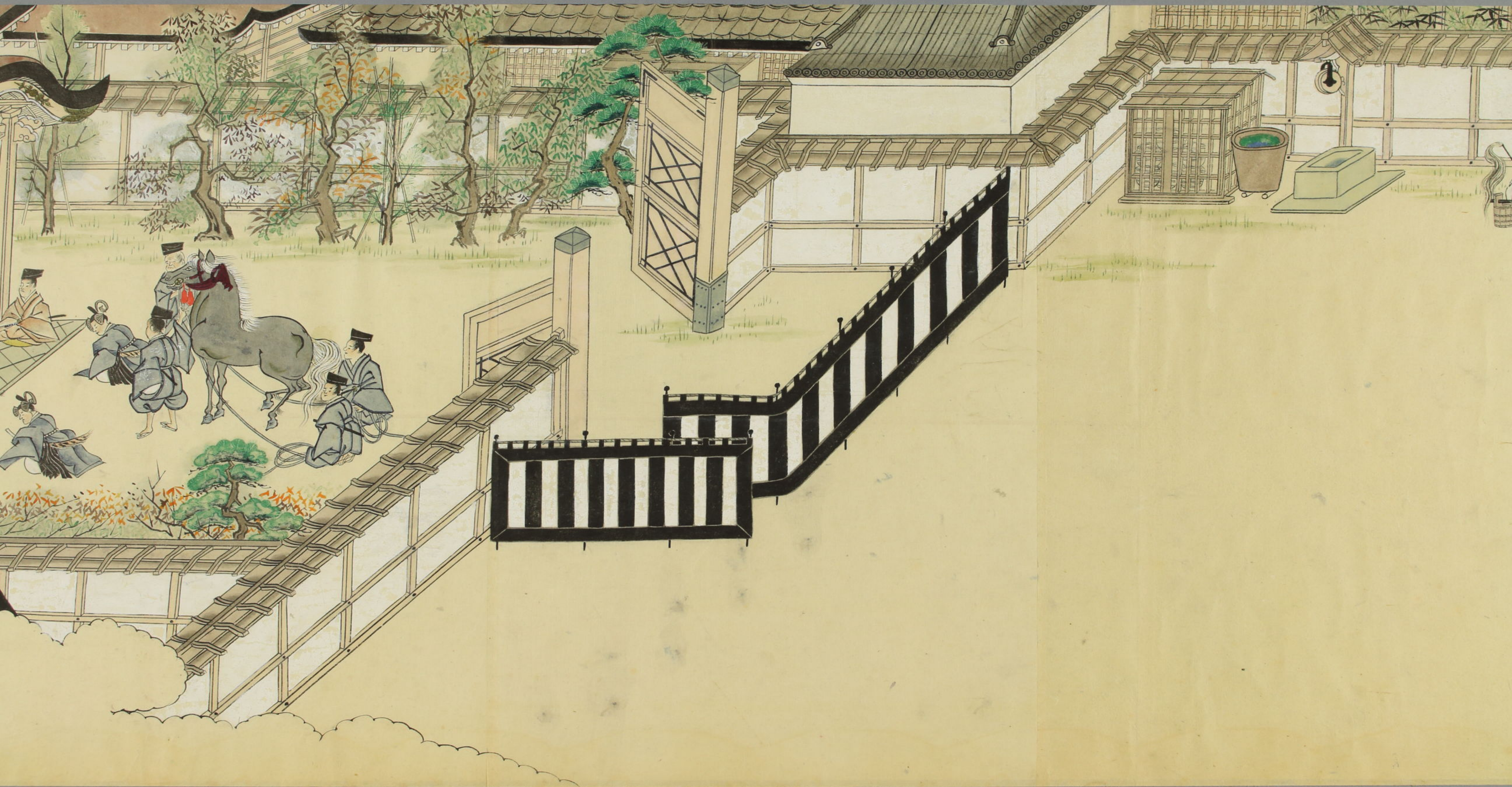


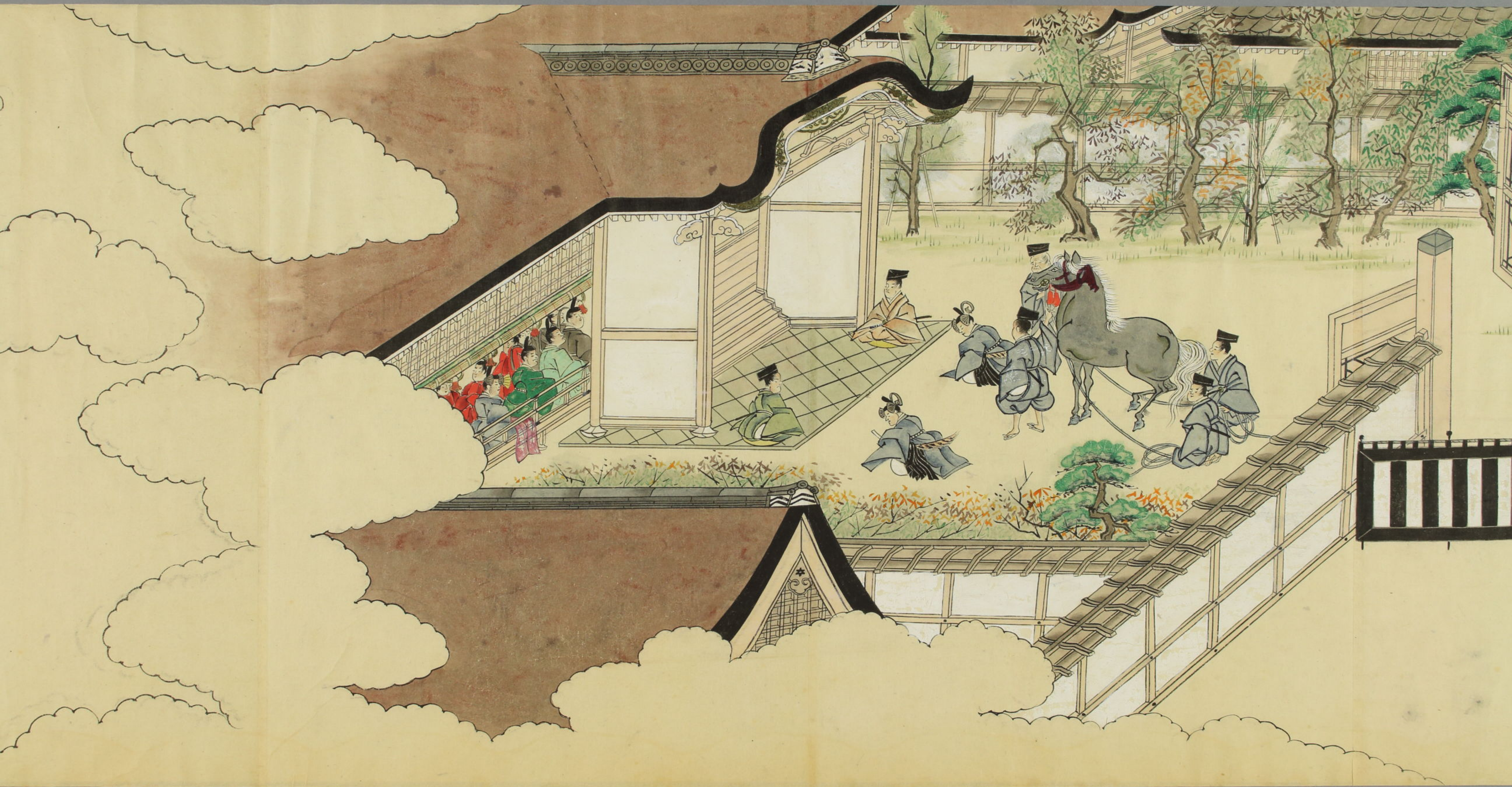


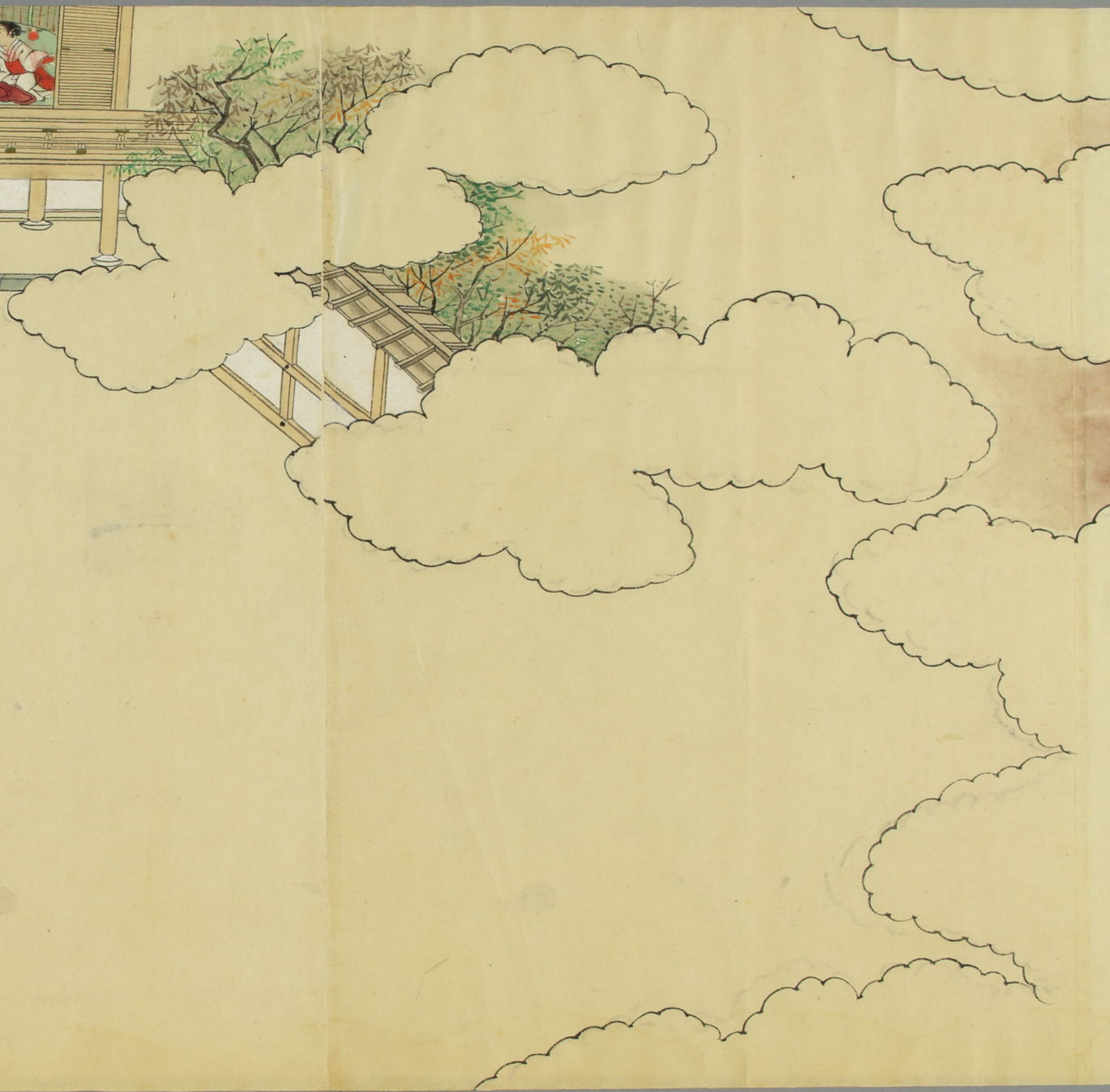
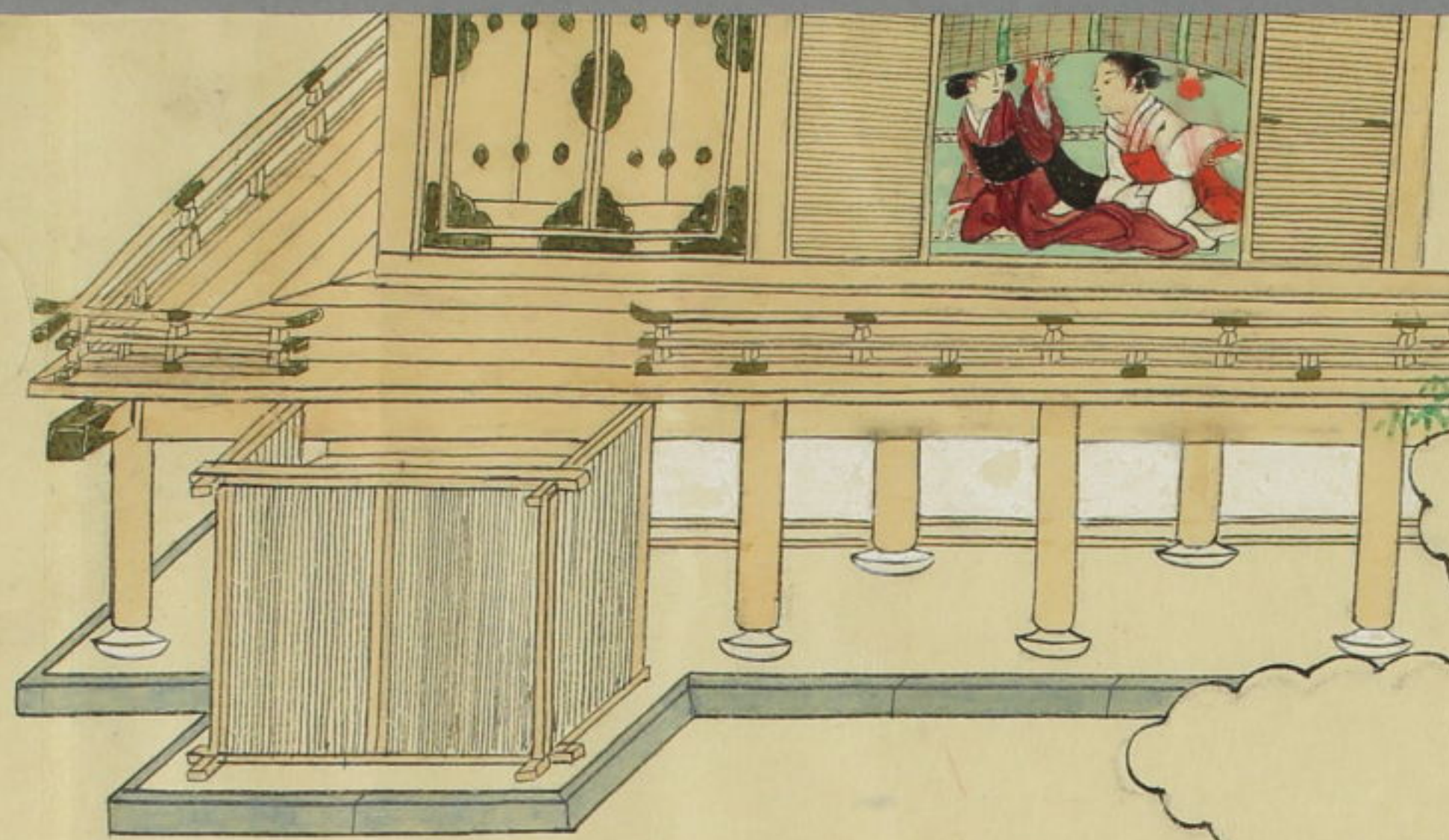
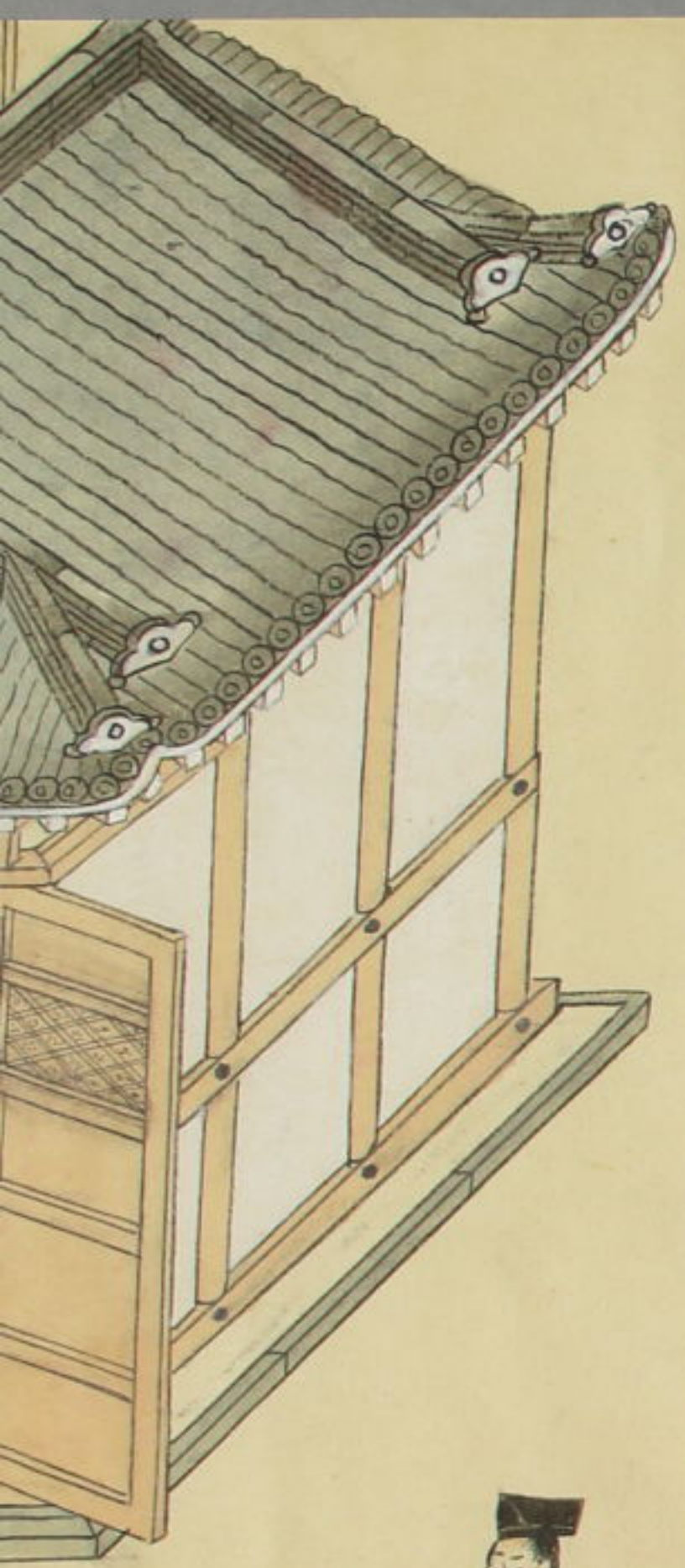






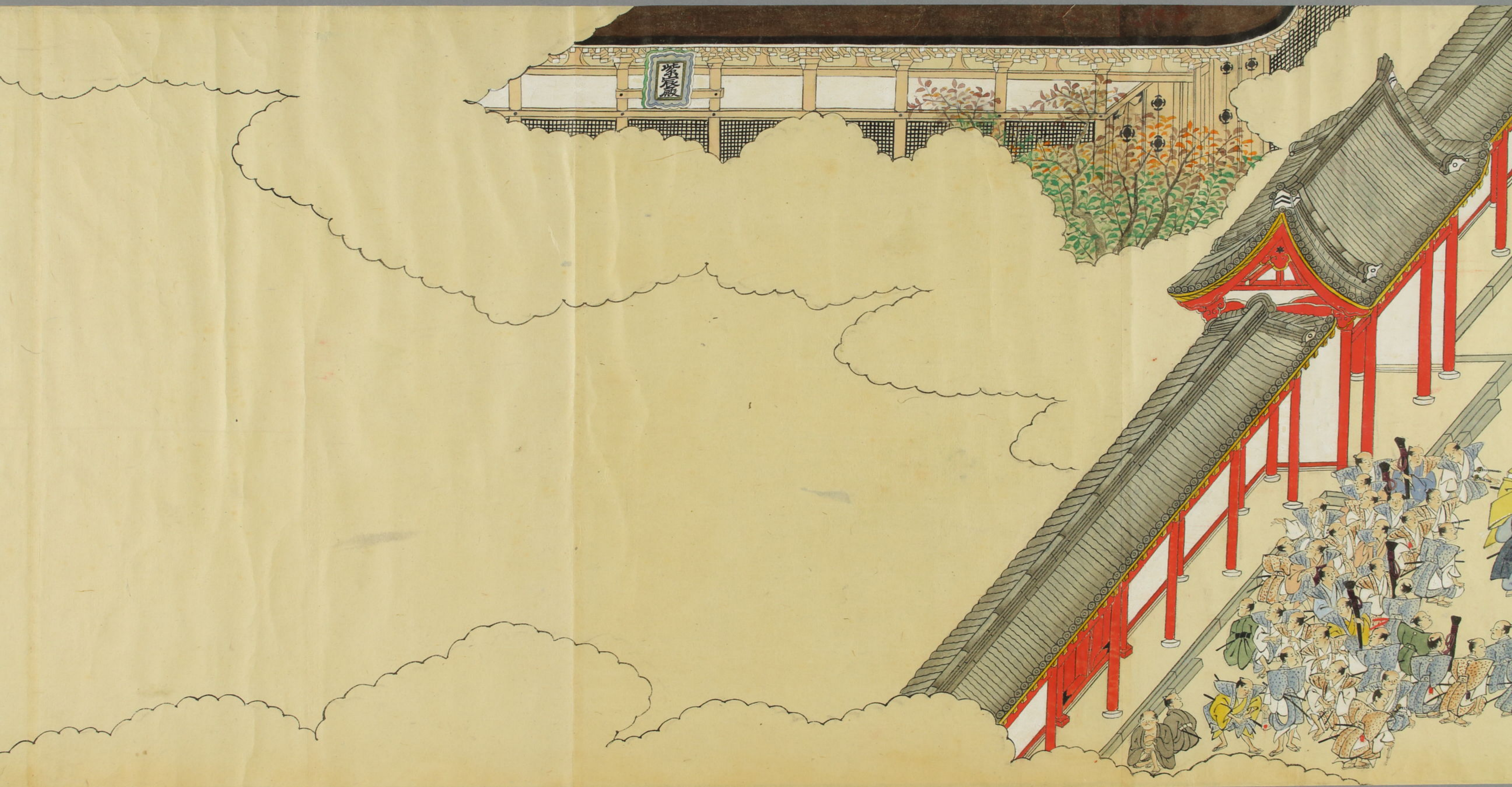






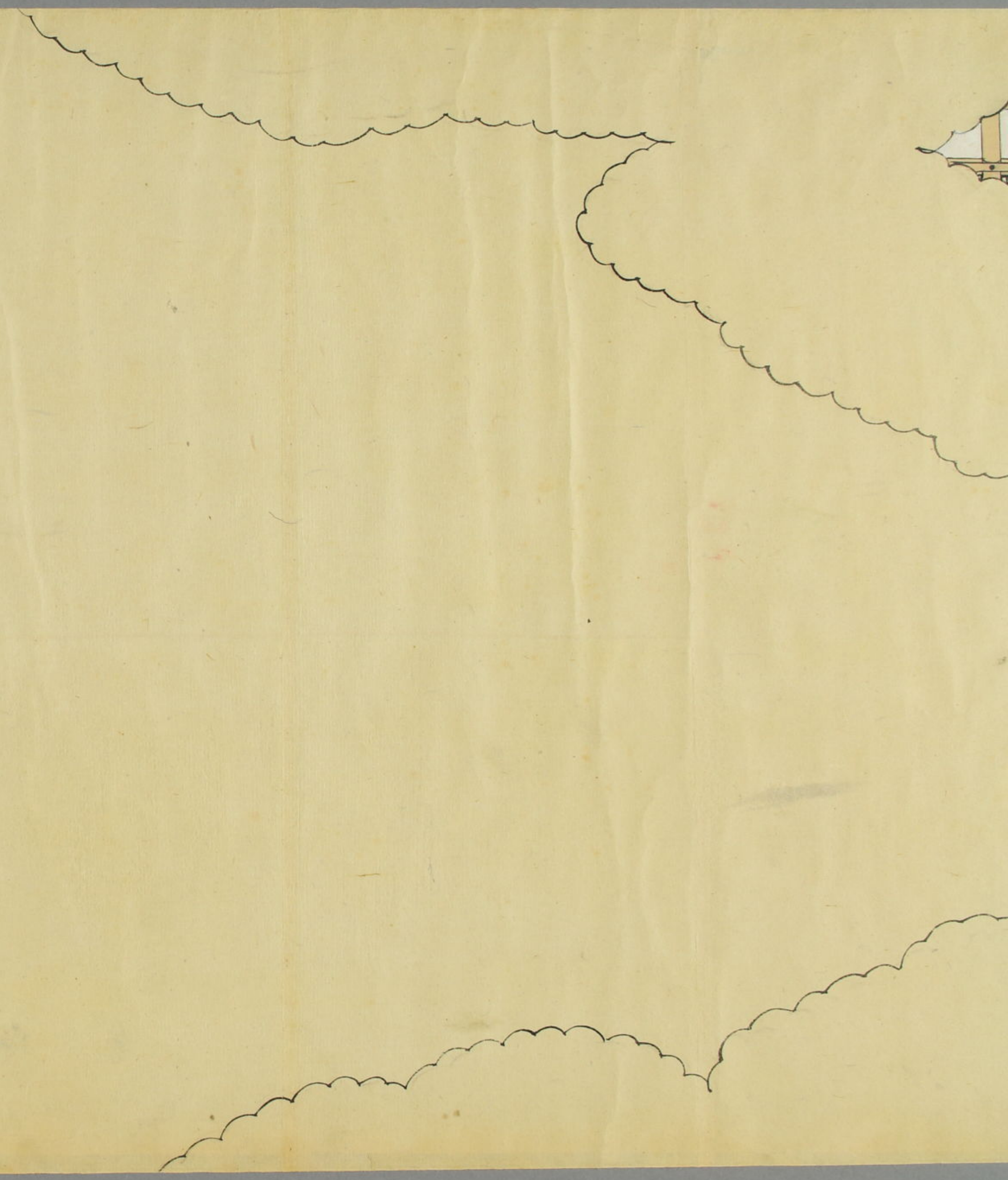






紫宸殿

きつむる日乃夜和あめそえ又母



きつむる日乃... 和あめ... 父母  
此名と... あ... こと... こと...  
即... 事... 事... 事...  
い... 事... 事... 事...  
き... 事... 事... 事...

おつ... 事... 事... 事...

駒... 事... 事... 事...

文化五年十一月

刑部卿貞直志

富小路

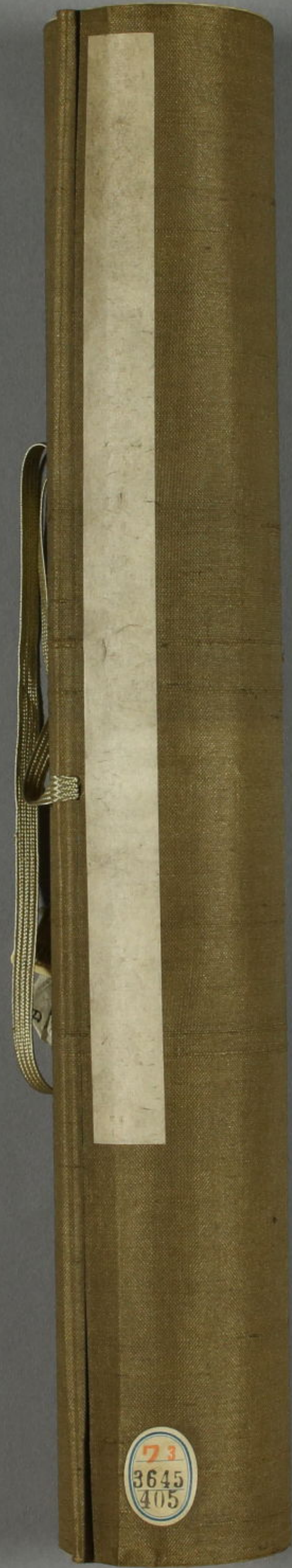
文化十年補略 正三位 貞直 十四  
文政七年 治部卿 二十四

文政七甲午六月日寫

東奥一関藩 本間源百里







73  
3645  
405





73  
3645  
405

本間文庫

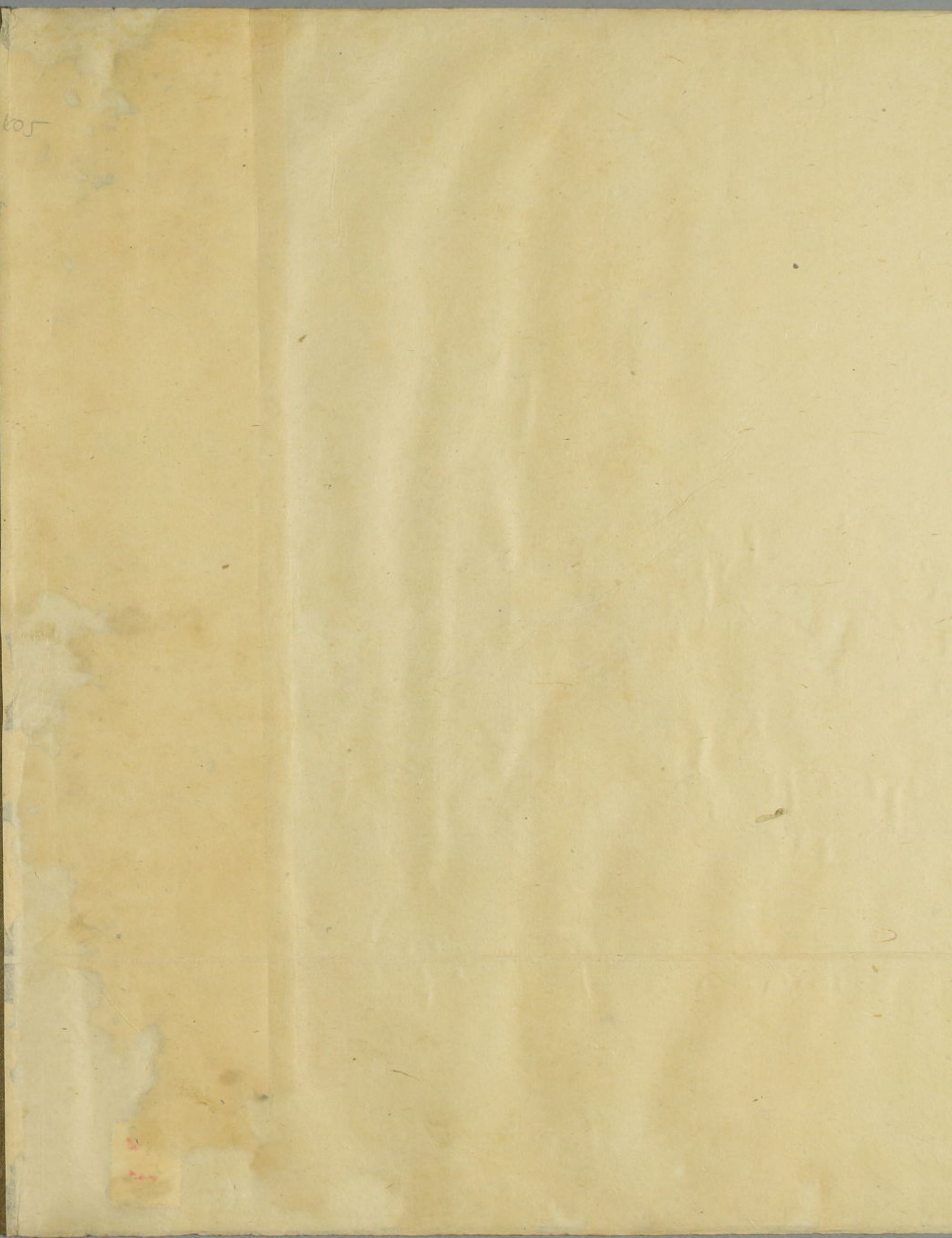
本間文庫

73  
3645  
405





73  
3645  
405



605